

ベーシックボックス 施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

ご使用前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

⚠️ ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工・取扱を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工・取扱を行なった場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10
 北海道・東北営業グループ TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695
 関東甲信越営業グループ TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645
 首都圏営業グループ TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
 中部営業グループ TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646
 近畿営業グループ TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647
 中四国営業グループ TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648
 九州営業グループ TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649
 新規需要開拓グループ TEL(087)825-3631 FAX(087)825-3659
 営業開発グループ TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
 特需営業チーム TEL(087)825-3651 FAX(087)806-3640
 技術営業チーム



野外使用禁止

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。



傷注意

施工時に部材表面の化粧紙を傷つけないようご注意ください。



屋内であっても直接水のかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。



火気厳禁

本製品は木質製品です。火気には充分お気を付けてください。



粘着テープ使用禁止

化粧面に粘着テープ(セロテープ・シールなど)を貼らないようにしてください。



溶剤厳禁

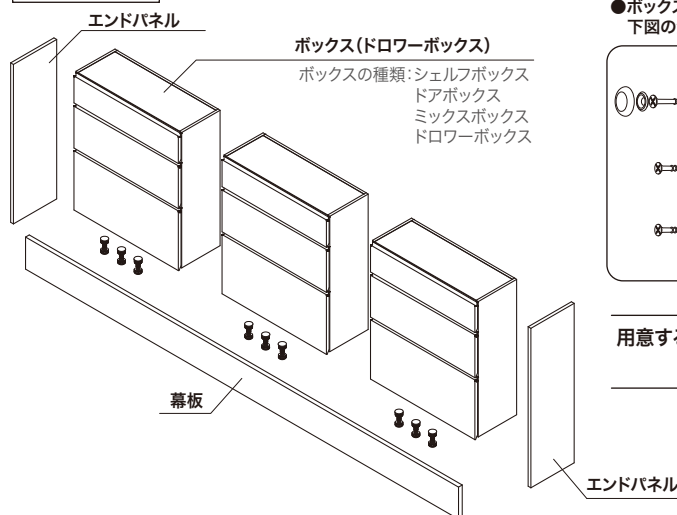
水・油・インク・薬品などが付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

施工手順 ベーシックボックス施工説明

【躯体準備】

- 施工前に躯体の垂直・直角をご確認の上、施工を行なってください。
- 本製品は壁面に対してビスで固定するため、施工壁は12mm厚以上の下地合板を使用してください。
- 幕板セットを設定する場合は **2** **5** を参照してください。

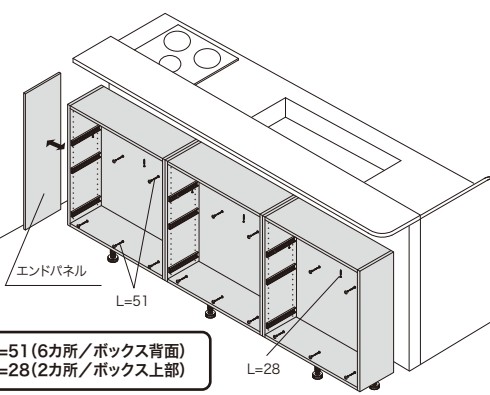
製品の構成



- ボックス1セットに対して
下図の金具が同梱されています。
- ビス L=51mm [ビスキャップ付] / 6本 (ドローボックスはビスキャップなし) (背面固定用)
 - ビス L=28mm / 4本 (上部固定用) ※4本中、2本は予備
 - ビス L=28mm [ビスキャップ付] / 4本 (ドローボックスはビスキャップなし) (連結・エンドパネル固定用)
- 幕板セット1セットに対して
下図の金具が同梱されています。
- アジャスター / 9個
 - クリップ / 3個
 - 受け座 / 3個
 - ビス L=41mm / 27本 (アジャスター固定用)
 - ビス L=10.5mm / 12本 (受け座固定用)
- 用意するもの
- ◎電動ドライバー
 - ◎ドライバー(プラス・マイナス)

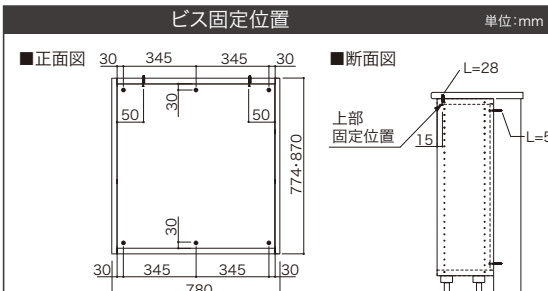
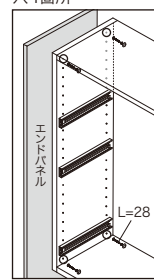
3 壁側エンドパネル・ボックスの取り付け

壁側のエンドパネル(カットが必要な場合はカットしておいてください)をボックスにビスL=28を使って取り付けてください。その後、ボックスの取り付け位置を決め、背壁面にビスL=51、カウンターにL=28を使って固定し、背面・エンドパネル固定用ビスにはビスキャップを付けてください。



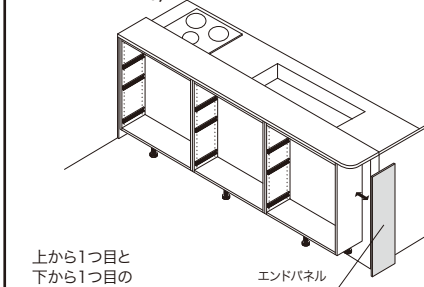
上から1つ目と下から1つ目の穴4箇所

ビスL=51(6カ所/ボックス背面)
ビスL=28(2カ所/ボックス上部)

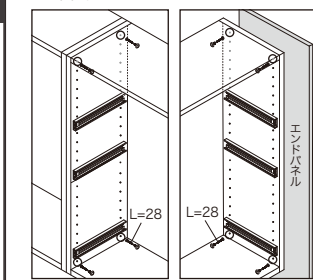


4 連結・エンドパネルの取り付け

ビスL=28を使い、ボックス同士とエンドパネルを固定し、ビスキャップを付けてください。(エンドパネルのカットが必要な場合はカットしておいてください。)

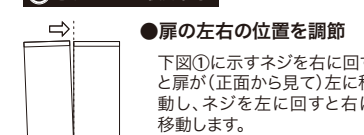


上から1つ目と下から1つ目の穴4箇所



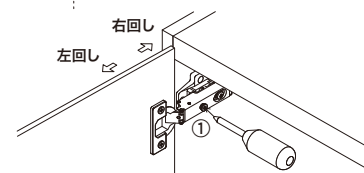
扉の位置調整

⊗電動ドライバー使用不可



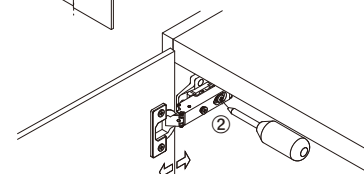
●扉の左右の位置を調節

下図①に示すネジを右に回すと扉が(正面から見て)左に移動し、ネジを左に回すと右に移動します。



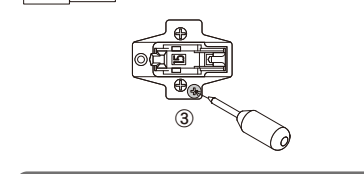
●扉とボックスの隙間を調節

下図②に示すネジをゆるめ、扉を前後に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。



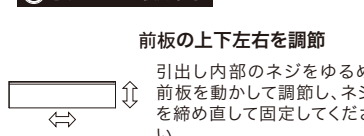
●扉の上下を調節

下図③に示すネジ(丁番座金にあります)をゆるめ、扉を上下に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。



引出し前板の位置調整

⊗電動ドライバー使用不可

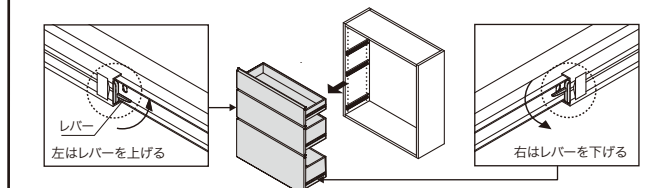


前板の上下左右を調節

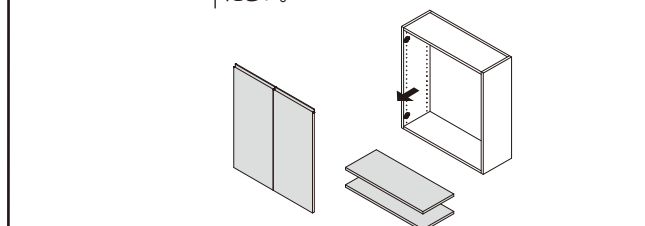
引出し内部のネジをゆるめ、前板を動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。

1 引出し・扉・可動棚板を外す

引出しを外す
ドローボックス、ミックスボックスの場合は、ボックスから引出しを取り外してください。

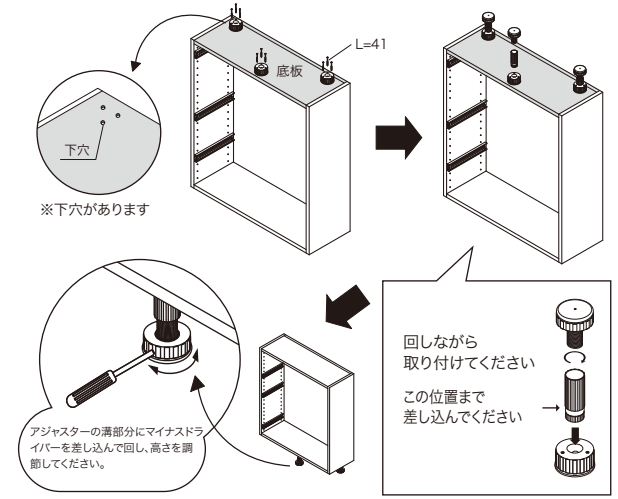


扉・可動棚板を外す
シェルフボックス、ドアボックス、ミックスボックスの場合は、ボックスから扉・可動棚板を取り外してください。



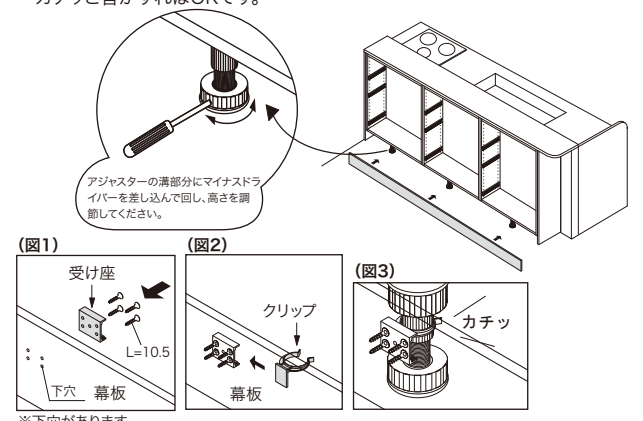
2 アジャスターの取り付け(幕板セット使用の場合のみ)

幕板セットを使わない場合は、そのまま **3** へ進んでください。ボックスの下部を上へ反転させ、ビスL=41を使ってアジャスターをボックスの下部に取り付けた後、ボックスを反転させ、アジャスターで高さを調整してください。



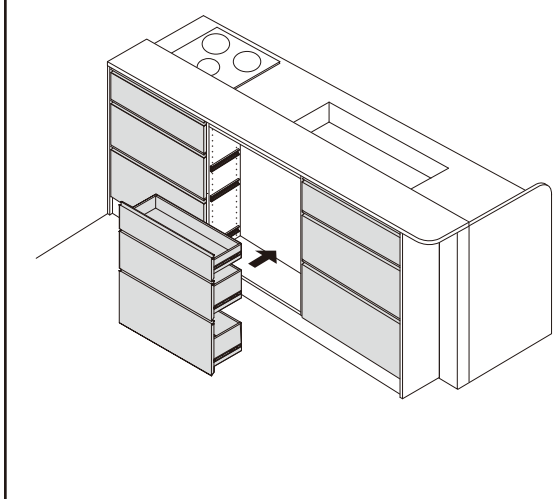
5 幕板の取り付け(幕板セット使用の場合のみ)

幕板セットを使わない場合は、そのまま **6** へ進んでください。
 ①アジャスターで高さを調整した後、幕板のカットが必要な場合はカットします。
 ⚠️注意 アジャスターの位置と幕板の下穴位置を合わせた上で、幕板をセットしてください。
 ②幕板にビスL=16を使って受け座を固定(図1)し、クリップを受け座に差込んでください(図2)。
 ③その後、正面から幕板をアジャスターに向かってはめ込んでください(図3)。カチッと音がすればOKです。



6 引出し・扉・可動棚板のセット

最初に取り外しておいた引出し・扉・可動棚板をボックス本体にセットしてください。
 ※扉、引出しの調整は右記の「扉の位置調整」「引出し前板の位置調整」をご参照ください。



※本施工説明書は、左下記ベーシックボックスの施工方法を記載しております。

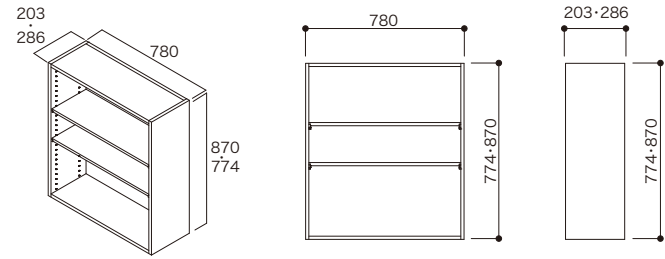
右下記載パーツの施工については、別紙「コーナーラック・フリーエンドパネル・フリー可動棚板・ショートウォール・ショートボックス施工説明書」をご確認ください。

※「コーナーラック・フリーエンドパネル・フリー可動棚板・ショートウォール・ショートボックス施工説明書」は、それぞれのパーツの同梱されております。

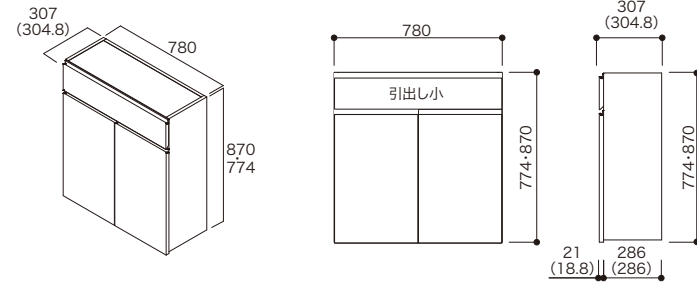
■ベーシックボックス

※図はホワイト・ナチュラル・ブラックの場合を表しています。
※奥行部分の()内寸法は、メラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

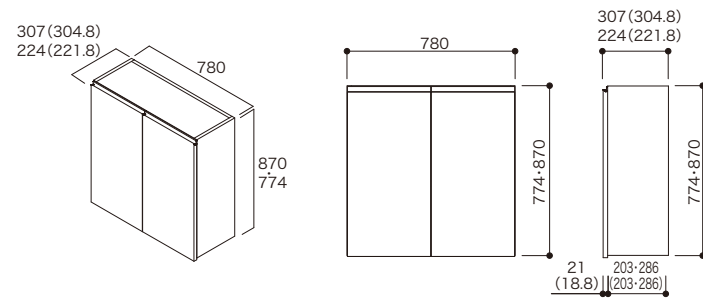
シェルフボックス



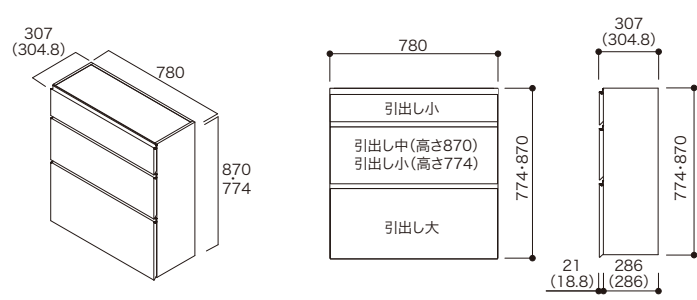
ミックスボックス



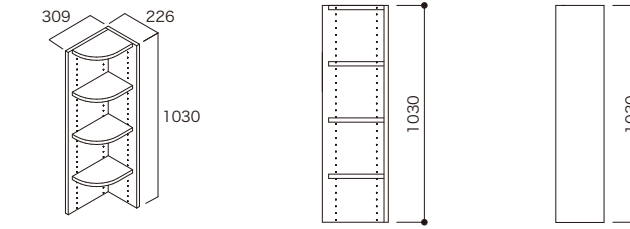
ドアボックス



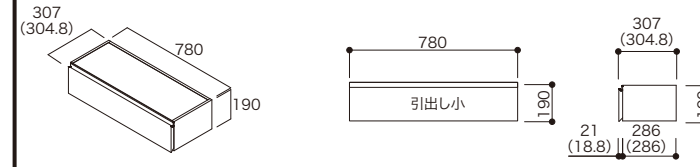
ドロワーボックス



コーナーラック

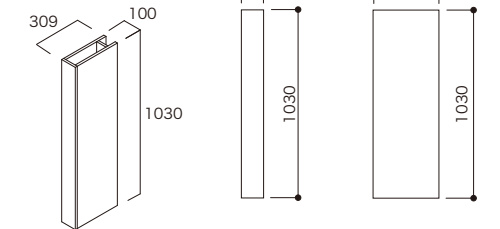


ショートボックス



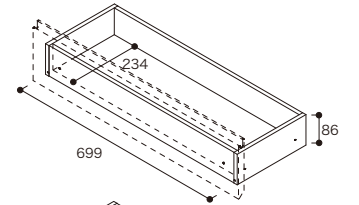
※図はホワイト・ナチュラル・ブラックの場合を表しています。
※奥行部分の()内寸法は、メラミンホワイト(光沢あり)の場合を表します。

ショートウォール



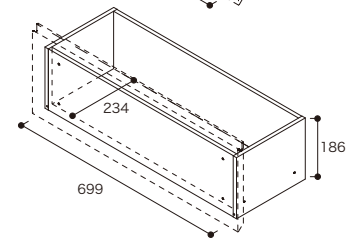
引出し内寸法

引出し 小
(ドロワーボックス・ミックスボックス
ショートボックスに使用)

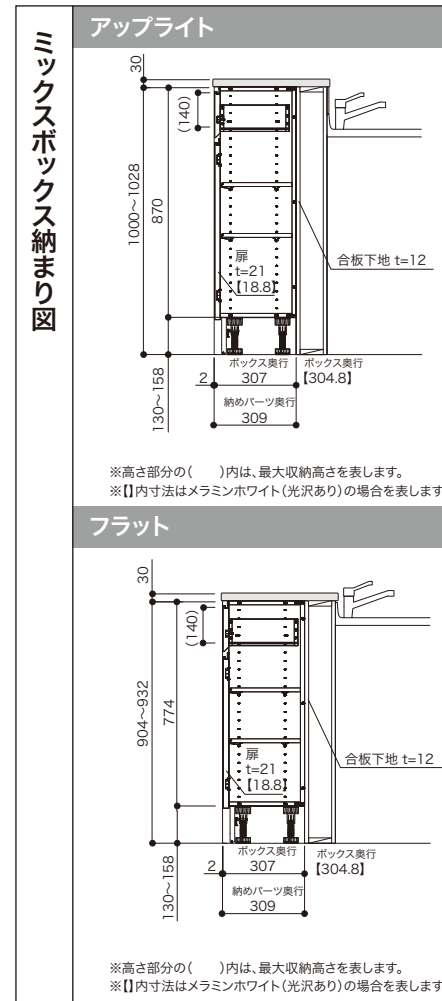
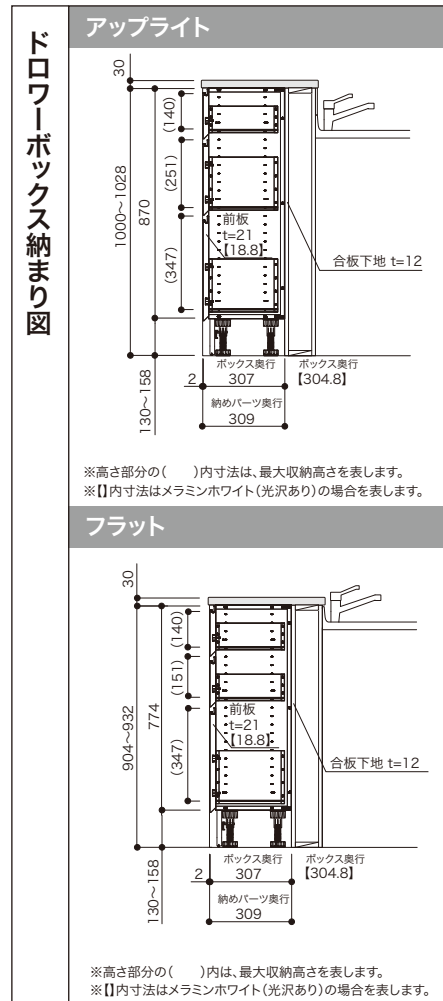
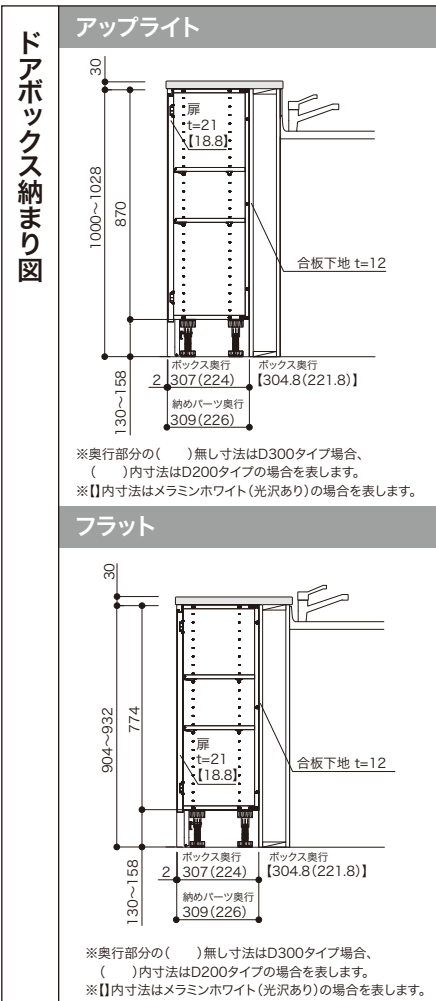


引出し 中・大
(ドロワーボックスに使用)

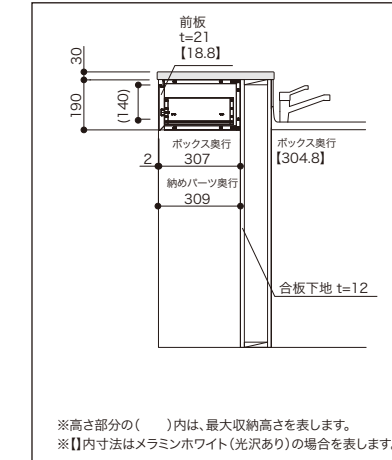
※中と大では前板の
サイズが異なります。



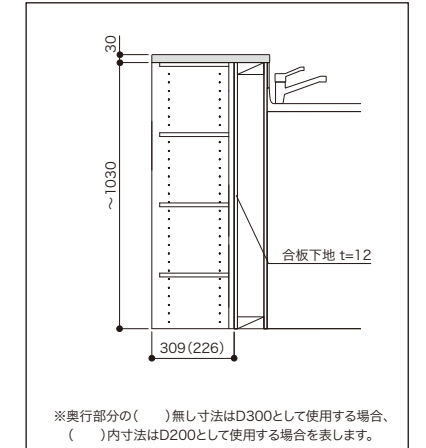
インディニ3納まり図



ショートボックス納まり図



コーナーラック納まり図



ショートウォール納まり図

